

厚膜形エポキシ樹脂塗料下塗



ネオゴーサー #2300PS



ネオゴーサー#2300PSは、1回塗りで120 μ mの厚膜塗装が可能な厚膜形エポキシ樹脂塗料です。省工程形塗装に最適でコスト低減に寄与します。

ネオゴーサー#2300PSの性状(鋼道路橋塗装用塗料標準2014)

特長

- 1.120 μ m/1回塗りの厚膜塗装が可能です。
- 2.ハイソリッドタイプの低溶剤形塗料です。
- 3.防食性に優れています。

商品構成

名称：ネオゴーサー#2300PS
色相：赤さび色、さび色

| 容量 | セット | 主 剤 | 硬化剤 |
|----|------|-------|-------|
| | 20kg | 17kg | 3kg |
| | 4kg | 3.4kg | 0.6kg |

混合比：主 剤/硬化剤=85 / 15
シンナー：二液形ネオゴーサーシンナー

| 試験項目 | 規格 | 品質 | | |
|-----------|------------------------|---|------------|----|
| 成分 | 塗膜中の鉛の定量 (質量分率%) | 0.06以下 | 合格 | |
| | 塗膜中のクロムの定量 (質量分率%) | 0.03以下 | 合格 | |
| 塗料性状 | 容器の中での状態 | かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になる。 | 合格 | |
| 塗 装 作 業 性 | 塗装作業性 | 吹付け塗りで塗装作業に支障がない。 | 合格 | |
| | 乾燥時間 (h) | A(23℃) | B(5℃) | 合格 |
| | | 16以下 | 24以下 | 合格 |
| | ポットライフ | 5時間で使用できる。 | 5時間で使用できる。 | 合格 |
| たるみ性 | 隙間隔200 μ mでたるみがない。 | | 合格 | |
| 塗 膜 性 能 | 塗膜の外観 | 正常である。 | 合格 | |
| | 上塗適合性 | 支障がない。 | 合格 | |
| | 耐おもり落下性 (デュボン式) | 500mmの高さから300gのおもりを落としたときの衝撃によって、塗膜に割れ及びはがれが生じない。 | 合格 | |
| | 付着性 | 分類1又は分類0 | 合格 | |
| | 耐アルカリ性 | 水酸化ナトリウム溶液(50g/l)に168時間浸したとき、異常がない。 | 合格 | |
| | 耐揮発油性 | 石油ベンジンとトルエンを容量比で8:2に混合した試験液に48時間浸したとき、異常がない。 | 合格 | |
| | サイクル腐食性 | 120サイクルの試験でさび、膨れ、割れ及びはがれない。 | 合格 | |
| 長期試験 | 屋外暴露耐候性 | 24ヶ月の試験でさび、割れ、はがれ及び膨れがない。 | 合格 | |

適合規格

- 鋼道路橋防食便覧 鋼道路橋塗装用塗料標準
- 福岡北九州高速道路公社 FKD-P-04
- 阪神高速道路株式会社 HDK-P-04
- 名古屋高速道路株式会社 NES-P-104
- 東日本・中日本・西日本高速道路株式会社 NEXCO P-07 NEXCO P-25
- 首都高速道路株式会社 50K P-417
- JIS K 5551 A種

用途

1. 鋼道路橋塗装 (重防食塗装下塗)
2. プラント設備 (重防食塗装)

標準塗装仕様 (鋼道路橋防食便覧 C-5塗装系)

| 塗装工程 | 素地調整程度・塗料名称 | 使用量 (g/m ²) | 目標膜厚 (μ m) | 塗装方法 | 塗重ね間隔 (20℃) | 施工区分 |
|------|-------------|-------------------------|-----------------|------|-------------|----------------|
| 1 | 素地調整 | | | | 4時間以内 | 製鋼工場 橋梁製作工場 |
| 2 | プライマー | 160 | (15) | スプレー | 6ヵ月以内 | |
| 3 | 2次素地調整 | | | | 4時間以内 | |
| 4 | 防食下地 | 600 | 75 | スプレー | 2日~10日 | |
| 5 | ミストコート | 160 | — | スプレー | 1日~10日 | |
| 6 | 下 塗 | 540 | 120 | スプレー | 1日~10日 | |
| 7 | 中 塗 | 170 | 30 | スプレー | 1日~10日 | |
| 8 | 上 塗 | 140 | 25 | スプレー | 1日~10日 | |

塗装ガイド

| | | | | | | |
|-------------------|------------------|--------|---------------------|-----------------------------|-------|-------|
| 塗装方法 | エアレススプレー・はけ・ローラー | | | | | |
| スプレー仕様 | 標準膜厚120μm | 標準使用量 | 540g/m ² | 被塗物の形状・表面状態によって使用量は若干異なります。 | | |
| はけ・ローラー仕様 | 標準膜厚60μm | 標準使用量 | 190g/m ² | | | |
| 塗装環境条件 | 温度 | 5~40℃ | 湿度 | 85%以下 | 表面温度 | 50℃以下 |
| 塗装方法 エアレススプレー例 | 圧縮比 | 30:1以上 | ノズルチップ (GRACO) | 519・521 相当 | | |
| | 二次圧力 | 15MPa~ | 塗装適正粘度 | 0.5~1.0Pa.s (リオン粘度計) | | |
| 使用シンナー | 二液形ネオゴーサーシンナー | | | | | |
| 温度 | 5℃ | 10℃ | 20℃ | 30℃ | 40℃ | |
| ポットライフ | 12時間 | 10時間 | 8時間 | 4時間 | 2時間 | |
| 乾燥時間 | 指触乾燥 | 3時間 | 2時間 | 1時間 | 30分 | 30分 |
| | 歩行可能 | 2日 | 1日 | 1日 | 1日 | 16時間 |
| | 完全硬化 | 14日 | 10日 | 7日 | 5日 | 5日 |
| 塗重ね間隔 | MIN | 1日 | 1日 | 1日 | 1日 | 1日 |
| | MAX (同種) | 30日 | 30日 | 30日 | 30日 | 20日 |
| | MAX (異種) | 10日 | 10日 | 10日 | 10日 | 7日 |
| 適正希釈率 | エアレス | 10~15% | 10~15% | 10~15% | 5~10% | 5~10% |
| | はけ・ローラー | 10~15% | 10~15% | 10~15% | 5~10% | 5~10% |

注1 塗重ね間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を遵守してください。
 注2 データは予告なしに変更することがあります。

安全衛生

| 項目 | 主 剤 | 硬 化 剤 | シンナー |
|-------|---------|---------|---------|
| 有機則区分 | 2種 | 2種 | 2種 |
| 危険物分類 | 4類1石・II | 4類1石・II | 4類1石・II |

■ 取り扱いに関する一般的な注意事項

■ 調合

- 1 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心掛けてください。
- 2 塗料は使用前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い均一な状態にして使用してください。
- 3 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
- 4 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて、希釈量は、規定量内でご使用ください。

■ 塗装

- 1 気温5℃以下、湿度85%以上のときは塗装禁止です。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 2 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 3 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は、塗装を避けてください。
- 4 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 5 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないように注意してください。
- 6 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 7 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

■ 緊急時の対応

- 1 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 2 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 3 蒸気、ガス等を吸入した場合には、清浄な空気の場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 4 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
- 6 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■ 廃棄

- 1 自然発火の恐れがありますので、当該塗料が付着したウエスやダンボールなどの可燃物、塗料カス、スプレーダスト等は速やかに焼却処分をするか、水に浸してください。
- 2 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■ 保管

- 1 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 2 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 3 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 4 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。
 ※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
 ※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



神 東 塗 料

くらし ゆたかに あざやかに
 未来を創造するコーティング

工場 尼崎・千葉

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本 社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号 ☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)
 東京事業所 〒136-8611 東京都江東区新木場四丁目3番17号 ☎(03)3522-2111(代) FAX(03)3522-2150(代)

製品に関するお問い合わせ

| | |
|--|--|
| 北海道営業所 ☎(0123)32-0431(代) FAX(0123)34-6199(代) | 名古屋営業所 ☎(052)612-0293(代) FAX(052)612-0318(代) |
| 東北営業所 ☎(022)285-7915(代) FAX(022)285-7813(代) | 大阪営業所 ☎(06)6426-3763(代) FAX(06)6429-6268(代) |
| 東京営業所 ☎(03)3522-1672(代) FAX(03)3522-1678(代) | 中国営業所 ☎(082)264-6822(代) FAX(082)264-6821(代) |
| 静岡営業所 ☎(054)245-0135(代) FAX(054)247-4091(代) | 四国営業所 ☎(087)841-1251(代) FAX(087)843-3108(代) |
| 北陸営業所 ☎(076)262-1305(代) FAX(076)262-1315(代) | 九州営業所 ☎(092)472-2222(代) FAX(092)473-5777(代) |

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。



●この印刷物は環境に優しい植物油インキを使用しております。
 ●この印刷物は水なし印刷で作成しております。